



▲ 木葉小 初めて入る圃場に大はしゃぎしています



▲ 山北小 先生や保護者たちに教わりながら苗を植えています

稲 町内小学校 田植え 作を学ぶ

6月、木葉小学校と山北小学校のそれぞれの学校田で田植えが実施されました。これは授業の一環で農業について学ぶことを目的としており、5年生と6年生が参加しました。昨年は新型コロナウイルスの影響で田植えが中止になったため、児童たちにとって圃場での作業は初めての経験です。最初は不安定な足場を裸足で慎重に進んでいましたが、徐々に圃場の中を歩くのにも慣れ、植えるペースも上がり、後半には多くの児童から「手持ちの苗がなくなりました！次の苗をください！」と声上がるなど、慣れた様子でした。作業が終わると、児童たちは水場で泥だらけの全身を洗い流し、達成感に笑顔を浮かべていました。

田植えの授業が終わったあと、木葉小学校6年生の柴田未来さんは「収穫が楽しみです」、山北小学校5年生の小山莉叶さんは「泥だらけになったけど苗を植えることは楽しかったです」とそれぞれ話しました。